

〔科目名〕 学習導入演習	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 アカデミック・コモン・ベーシックス				
〔担当者〕 野坂 真	〔オフィス・アワー〕 時間:授業時間前後のほか、メールで随時受付 場所:授業を行う教室または 1301 研究室	〔授業の方法〕 演習				
〔科目の概要〕 本授業では、大学で学ぶための基礎的技法である「アカデミック・スキルズ」を身につける。全 15 回の終了までに、①問いを立て、②調べものをして、③その結果を整理してときに発表・議論し、④最終的に学術的なレポートにまとめる、という一連のプロセスを自力で行えるよう目指す。						
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 混沌とした現代社会を生き抜き、自分らしく豊かな人間生活を送っていくためには、自らの力で多角的・客観的のものごとを見ることで課題を発見し、必要に応じて他人の助けも借りながら正しい道を見出していく必要がある。そのためには、「科目の概要」で述べた①～④のプロセスを通じ、①自らを取り巻く状況と課題を明らかにし、②課題解決のための方法を調べ、③調べた結果を多様な他人にも理解可能な形に変換しときに共有してフィードバックをもらい、④最終的に自分なりの解決の方向を見出していく能力を身につけることが重要である。						
〔科目の到達目標〕 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の問題意識に基づく学問的な問いを立てられるようになる。 ・自分で立てた学問的な問いに関わる情報を収集・整理できるようになる。 ・収集・整理した情報を、レジюмеやプレゼンテーション資料や学術的なレポートの形で、他人にも理解しやすいようまとめることができる。 						
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕						
学部				学科		
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3
		○	○			
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 昨年度、授業終了時間を過ぎた回が数回あったことへの(建設的な)批判があったが、「演習」は双方向の授業という特性を持つため、講師だけで完全に時間管理をすることは難しく、最大3分程度の時間超過が数回ある可能性が今年度もあるという前提をまず受講者に理解していただきたい。その上で、改善策として、終了時間が過ぎた場合には、「用事がある人は静かに退室しても構いません。残れる人はあと数分だけお付き合いください」など声掛けを講師からすることにする。						
〔教科書〕 佐渡島紗織・吉野亜矢子(2021)『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第 2 版]-ライティングの挑戦 15 週間』ひつじ書房						
〔指定図書〕 佐藤望編著、湯川武・横山千晶・近藤明彦著(2020)『アカデミック・スキルズ[第3版]-大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会						
〔参考書〕 適宜授業内で示す。						
〔前提科目〕 なし。						

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの回で課す理解度チェックテスト等の課題の提出状況と評価(授業内容への理解度など) 30% ・授業中の参加状況(グループワークでの積極性や貢献度、講師からの問いかけへの回答内容の妥当性など) 30% ・中間レポートおよび最終レポートの評価(内容の説得力、調べ方や書き方の妥当性など) 40% <p>* 毎回出席することを前提とし、公欠になりうる理由で欠席する場合は大学事務局へ届け出ること。公欠以外の欠席回数が5回を超えた時点で原則単位不可となる。</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>本授業は、「高校での学び」から「大学での学び」へ移行する上での基礎を学ぶ意味もある。大学では、高校までと違い、誰かから何かを与えられるのではなく、自分自身でその「何か」を獲得することが学びの大前提となる。そのために、授業時間中は積極的に挙手し発言してほしい。それが難しければ、私語禁止は前提であるが興味深い・面白いと思えば拍手したり笑ったりする、納得・理解できれば大きくうなずく、理解するのが難しければ首をかしげるなど、自分の意思や感情を講師や他の受講者にもわかるように示してほしい。また、授業時間外は社会で起こっている様々な出来事に関心を向けて調べものをしてほしい。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>なし。</p>	
<p>授業スケジュール</p> <p>* 受講者の理解度などにより各回の内容や順番が変更となる可能性がある</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション</p> <p>内 容: 授業の趣旨説明、自己紹介、ノート・テイキングの方法</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 問いを立てる方法</p> <p>内 容: 学問的な問いの条件、個人的な問いから学問的な問いへ移行する方法</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の書き方(1)</p> <p>内 容: 一文一義で文章を書く方法</p> <p>教科書 『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の書き方(2)</p> <p>内 容: 語句を明確にして文章を書く方法</p> <p>教科書 『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の書き方(3)</p> <p>内 容: パラグラフ・ライティングの方法、主張を根拠で支える文章を書く方法</p> <p>教科書 『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の書き方(4)</p> <p>内 容: 論点を整理する方法</p> <p>教科書 『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の書き方(5)</p> <p>内 容: 先行研究から引用しながら文章を書く方法</p> <p>教科書 『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の書き方(6)</p> <p>内 容: 参考文献の示し方</p> <p>教科書 『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): まとめ(1)</p> <p>内 容: 学術的な文章の書き方の復習</p> <p>教科書 『これから研究を書くひとのためのガイドブック[第2版]-ライティングの挑戦 15週間』</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 情報収集の方法</p> <p>内 容: 図書館の所蔵資料やデータベースの利活用方法</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の読み方(1)</p> <p>内 容: 難しい文章を正確に読む方法</p> <p>指定図書 『アカデミック・スキルズ[第3版]-大学生のための知的技法入門』</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学術的な文章の読み方(2)</p> <p>内 容: クリティカル・リーディングの方法</p> <p>指定図書 『アカデミック・スキルズ[第3版]-大学生のための知的技法入門』</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 情報整理の方法</p> <p>内 容: 調べた結果や思考のプロセスを整理する方法</p> <p>指定図書 『アカデミック・スキルズ[第3版]-大学生のための知的技法入門』</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): まとめ(2)</p> <p>内 容: 学術的な文章を探し、読んで、整理する方法の復習</p> <p>指定図書 『アカデミック・スキルズ[第3版]-大学生のための知的技法入門』</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 総括</p> <p>内 容: 最終レポートへのフィードバック</p> <p>教科書・指定図書 なし</p>
試 験	<p>中間レポートおよび最終レポートで代替する。</p>